

令和5年度 小鴨コミュニティセンター事業（活動）計画

No. 1

	〈事業名〉	〈内容〉	〈ねらい〉	開催時期
I まなぶコミュニティセンター活動	<b>1 知識・実践力を高める</b>	実技の習得	今日の課題を知り、実践する力を身につける	
	1 みんなに知ってほしいこと研修会	地域課題、時事問題、人権、防災、歴史など	そのときにホットな話題を取り上げ研修する。（AEDの使い方、防災について、人権講演会、スマホの使い方、SNSについて、歴史講座等）	スマホ教室（ライン） 4、5月
	<b>2 健康・保健活動</b>	健康維持と生活の改善	健康を保つための学習と実技を磨く	
	1 クッキング教室（共）	食の見直し	食の見直しと健康づくり。食育	
	2 健康教室	健康保持のための学習	心と体の健康づくり	
	3 スポーツ教室	ニュースポーツの紹介	ニュースポーツを楽しみ健康づくりにつなぐ。（スポーツ推進委員事業共催含む）	
	<b>3 文化・教養活動</b>	多彩に趣味悠々	暮らしに文化、芸術を！ 文化祭、コミセン活動展へ出品	
	1 文化教室	筆文字、手芸、ものづくり等	文化・教養に触れる機会を提供することで、自らの楽しみを創造する。筆文字、ペン習字、クラフトバッグ、ものづくり（プラバン等）、はこた人形（干支絵付け）ハンドベル、フラダンスなど	
	2 文化教養講座	文学、歴史等	文化・歴史に触れる機会を提供し、興味、探求心を深める。小鴨が生んだ郷土美術の父 中井金三の生涯	秋ごろ 4回講座
	3 夏休み文化教室	小学生対象の夏休み教室	文化・教養に触れる機会を提供する。書道、絵の描き方教室、小鴨の文化財等	7～8月
	4 季節の心を伝える事業	お茶会（初釜、花見）、お月見等	季節の行事を通して、和の文化を楽しむ	
	5 サロン・コンサート事業（共）	演奏会の開催	クラシック音楽等に親しみを楽しむ（年2回）。地区振興協議会共同事業	
	6 コミセンギャラリー	作品展示と鑑賞の機会	コミセン活動によるグループ作品展示と鑑賞の楽しみ	
	<b>4 グループ・同好会育成活動</b>	グループ育成	趣味をグループで楽しみ、日々豊かな暮らしをする	
	1 （新）おがもPMC	グループ活動	研究指定事業後も活動継続し、保護者や子ども同士の仲間づくり、地域活動の参加につなげる	
	2 ちぎり絵サークル	ちぎり絵	ちぎり絵を楽しみ、仲間づくりをしながら健康づくりにつなげる	月1回
	3 グループ・同好会交流会	グループ間の交流	グループ、同好会が交流し地域活動につながっていく	年1回
	<b>5 グループ・同好会自主活動</b>			
		手芸同好会・水墨同好会（日本画）・土の会（陶芸）・小鴨川柳会・ラージボール同好会・おがも笑劇団・くりいんたい（園芸ボランティア）・おちゃめなくらぶ・健康大極拳・布ぞうりクラブ・男のクラブ・版画クラブ・切り絵を楽しむ会・ノルディックフレンズ・ぶち・カナル（歌のクラブ）・スポーツ吹矢を楽しむ会・ちぎり絵サークル・おがもPMC		年間

	〈事業名〉	〈内容〉	〈ねらい〉	開催時期
Ⅱ つどろコミュニティセンター活動	<b>1 集いと仲間づくり活動</b>	地域の人たちが集い、仲間づくりがすすんでいくように支援する		
	1 男のクラブ活動 (共)	カフェの開催	男性の地域活動参加と地区の人たちが集う機会づくり	月1回
	2 コミセンの日	クリスマス会等の開催	コミュニティセンターで活動するグループの紹介や地区の人たちとの交流	
	3 親と子の小学校入学前交流講座	年長児の保護者と子どもの研修、交流会	年長児の保護者と子ども相互の仲間づくりを促進する	年3回
	<b>2 集い学び地域づくりへ</b>	集いの中に学びを取り入れ、地域活動へとすすんでいくように支援する		
	1 子育てママ講座	異年齢の交流	親同士の交流と地域の人との交流。地域で子どもを育てる	
	2 地域再発見事業(共)	地域の魅力再発見	地域の文化財めぐりなど地域の魅力を学ぶ	9～10月
	3 隣のDAI学院	高齢社会を豊かに	知識、教養を磨き生きがいのある暮らしと地域参加をめざす	月1回程度
	4 女性のつどい講座	女性団体間の交流学習、女性のつどい発信の事業	メンバー間の交流や視察、研修をとおして各団体を元気にする	10～11月
	5 おでかけ教室	出向く教室	町区に講師とコミュニティセンター職員が出向いて行う健康教室、ニュースポーツ教室、手芸・ものづくり教室、防災教室等の開催	6月～3月
6 重点取組事業 (1年目)	重点取組事業	30～40代をターゲットにした事業	年間	
7 地域活動養成講座	人材育成	となりのこうみんかんクラブ活動指導者、地域の応援団養成 (子育て応援隊等)		
8 あい・リスンコミュニティ (共)	地域の交流の場	傾聴ボランティア「あいりす」、倉吉市社会福祉協議会、小鴨コミュニティセンター共催。地域の人たちが集まって”ほっこり”する時間を過ごしたり、相談ができる場所の提供	月1回 第2火曜日	
9 (新) 高校生の地域活動	地域での高校生活活動の場の創出	高校生対象。学年でグループを作り、自分たちが学びたいこと、地域でやりたいこと等を考え活動していく。将来的に、グループ間の交流も図る		
10 出版活動 (共)	図書の出版と普及	コミセン事業等で学んだ講座内容「ひと・こと・もの」を図書に		

	〈事業名〉	〈内容〉	〈ねらい〉	開催時期
Ⅲ ささえあう コミュニ ティセ ンター 活動	<b>1 地域づくり活動の実践</b>	人と人、人と地域をつなぎ、笑顔いっぱいのよりよい小鴨づくりを実現していく		
	1 災害共助ボランティア講座	災害ボランティア養成	災害時の共助ボランティアチームづくり。防災訓練、除雪作業等	除雪機講習会 2回
	2 地域学校連携事業	学校教育支援	小学校、養護学校、保育園の授業と地域の人たちを結ぶ支援や地域学習の提供。小学校での学習支援	
	3 となりのこうみんかんクラブ	学校支援活動	小学校懇談会の日子どもたちがコミュニティセンターで活動するクラブ	年5回
	4 養護学校生徒受け入れ	学校支援活動	養護学校生徒の社会参加受け入れ	
	5 人権・同和学习講座（共）	人権学習講座	人権文化センター、各種団体等と共催して差別のない地域づくりをめざす	
	6 環境研修会（共）	環境学習	環境について理解を深め、地域での実践につなげる	
	7 健康研修会（共）	健康学習	健康について理解を深め、地域での実践につなげる	
	8 人権同和教育（共）	地区人権学習	町内、指定学習会をとおして明るい地域づくりをめざす	
	9 小鴨地区文化祭（共）	地区文化祭	地域交流	
	10 小鴨地区運動会（共）	地区運動会	地域交流	
	11 小鴨地区敬老会（共）	地区敬老会	地域交流	
	12 小鴨地区球技大会（共）	ソフトボール、バレーボール大会	地域交流	
	13 小鴨地区スポーツ交流会（共）	グラウンドゴルフ等	地域交流	
	14 おがも笑顔のまつり（共）	夏のまつり	地域交流	
	15 倉吉市コミュニティセンター活動展（共）	日々の活動の発表で元気な小鴨を発信する		
	16 健康ウォーキング（共）	健康づくり	地区内を歩きながら自然に親しみながら健康づくりをする	
	17 小鴨まるごと会議（共）	共生型支援会議	地区住民の顔が見える関係づくり、地区の困難事例や課題について検討し支援体制を総合的に調整、推進する	
18 各種団体支援活動（別記）※	自主活動支援	地区各種団体の自主活動を支援し、地域づくりをすすめる		
	*（共）は各種団体との共催事業です			

	〈事業名〉	〈内 容〉
Ⅲ さなえあう コミュニ ティセ ンター 事業	2 各種団体への協力・支援 ※	地区内の自治団体、振興協議会、目的団体等の活動を支援し、地域づくりに共同で取り組む
	1 各町区自治公民館	学習支援
	2 自治公民館協議会	館長会、部長会、先進地視察、消防出初式、敬老会、球技大会、運動会、文化祭、各部会の研修会
	3 振興協議会	4部会による活動。歴史の掘り起こしと再発見活動、花のロードステーションづくり、健康ウォーキング、体を動かそうDAY、サロン・コンサート、会報発行、部会
	4 社会福祉協議会	ふれあい給食事業、福祉研修会、いきいきサロン、まるごと会議等
	5 青少年育成協議会	部会による活動。親と子どものふるさと探訪、中学生のつどい、年少少女のつどい、あいさつ運動、研修会、会報発行、部会
	6 同和教育研究会	町内学習会開催（事前学習会、全体学習会、町区学習会、指定事業、反省会）、講演会、市開催事業参加
	7 地域安全推進協議会	心豊かな子どもを育てる懇談会、啓発のぼり旗の掲揚、会報発行
	8 食生活改善推進員の会	介護予防教室、健康教室、親と子の食育教室、研修会
	9 シニア（老人）クラブ協議会	健康学習、人権学習、社会見学、研修会等
	10 更生保護女性会	保育園、児童センターとの交流会、研修会
11 おがもカーシェアリング倶楽部	コミュニティ・カーシェアリングによる共助交通事業、サロン活動等	
	学校体育施設開放企画委員会	スポーツ推進と健康づくりを目的に、小鴨小学校及び西中学校体育館の、利用者間の調整を行う。
	調査広報活動	「コミセンだより」の発行（12回）、コミュニティセンターホームページによる活動紹介、コミュニティセンター活動の展示紹介
	会議	小鴨コミュニティ連合会理事会・総会等の開催、市館長会・市主事研修会、西中・鴨川中校区主事会
	研修・視察	県・市公民館等研究大会、全国・中四国研究大会
	外部視察・研修	看護大学研修受け入れ、鳥取短期大学研修受け入れ
	計画訪問	10～11月